

# 美山の源流水と和の花を主に配合した化粧水の製造販売

## 大石酒造株式会社

代表取締役

大石 博司さん



大石 博司さん

平成26年度 採択事業

### 300年もの歴史を誇る老舗の酒蔵

創業が元禄年間という大石酒造は、京都亀岡の地において300年もの歴史を誇る老舗の酒蔵です。豊かな自然に育まれた丹波産の上質な米と上桂川や美山川の清らかな伏流水を仕込み用水として使用し、現代ではわずかな酒蔵でのみ受け継がれる昔ながらの製法・生酛（きもと）づくりを守り続けています。



白壁が美しい大石酒造の「丹波路・酒の館」

純米大吟醸「翁鶴」をはじめ、ブランド名「翁鶴」を付した「鬼ごろし」「やまはい」など三十種を超える日本酒や梅酒、リキュールを製造。近年では世界酒類コンテストの「Sake部門」において「翁鶴」と「てんごり」が毎年受賞を重ね、世界からも注目が集まっています。

また、亀岡の蔵元では本館と本蔵を活用したミュージアムショップ「酒の館」を開設し、かつて使われていた仕込み桶など酒造りの道具や資料、麴を発酵させる麴室、瓶詰め作業などが見学できるほか、旧精米所の建物を利用した茶房「酒喜庵」、直売所や試飲コーナーを設置。丹波特産の農産加工品の販売や五年熟成の秘蔵酒も量り売りしています。



数多くのお酒と丹波の特産品を直売しています

### 「飲む酒」に加え、化粧水という「使う酒」の商品開発へ

「伝統を守り続けるには時代の動きを感じ取り、お客様のニーズに合った商品開発が欠かせない」と語る大石

## 農林水産物の活用

さん。原酒や大吟醸、にごり酒など、これまでに開発した商品は40種類以上を数えます。しかし、それは「日本酒の需要が頭打ちする中で新たなバリエーションの商品を作り、活路を見出していく必要があった」という状況があったからです。

その他にも何か新機軸が打ち出せないかと考えあぐねていたところ、ヒントは同社の酒蔵を訪れる観光客にありました。来場者の多くが小グループや団体の女性客ということに着目し、甘口や低アルコールのお酒のラインアップを増やしていきます。さらに、日常的に使える商品として何かないかと考えた結果、酒造過程で生まれる成分を利用した化粧品類の開発に着手します。

完成したものは、日本酒の醸造工程で生まれる「コウジ酸」を用いた化粧水。保湿効果の高い天然コラーゲンの一種で、専用に仕込んだ純米酒を化粧水として発売しました。その後、酒米を精米する過程で生じる米ぬかのエキスと、絹の主成分で高い保湿性を持つ「セリシン」を配合したクリームやボディソープなども発売し、今では事業の柱の一つになるまで成長しました。

### フレグランスローション「京薫り水」

また、近年では化粧品やトイレタリー商品における「香り」が商品選択の重要なポイントとなっています。そこで、次に手がけたものは、和・京都・日本をイメージさせる香りで日本の花（ささゆり・くちなし）をモチーフにし、全身にも使用できる優しさにこだわったローション「京薫り水」でした。

「その花言葉も香りで伝えることができるように、成分や原料水にこだわって造った香水です。美山川源流の清涼な水を使用し、保湿効果のある酒エキスの配合にも工夫を凝らしたフレグランスローションですので、身体にはもちろん、髪の毛にもしゅっと吹きかけていただくと上品でさわやかな香りが広がりますよ」。

異業種交流に20年以上前から取り組んできたことが、日本酒と化粧品という異なる分野の垣根を越えられた下地になっているといい、「日本酒業界にとっては厳しい時代が続くが、伝統にあぐらをかくのではなく時代に合わせた柔軟な対応が酒蔵には求められる。そ



「京薫り水」(ささゆり・くちなし)

の象徴がこの化粧品たち」と力を込めて語ります。

### “自今生涯(じこんしょうがい)”をモットーに“良い酒”造りを

「日本酒の魅力をもっと多くの方に知ってもらうため、“良い酒”を造り続けたい」という思いから、昨年は酒造りにより良い環境である美山町に新たな酒蔵をオープンしました。併設の直売店「美山路・酒の館」では日本酒をはじめ、漬物や醤油など厳選した商品を豊富に取り揃えています。

「中国の天津にも工場を立ち上げて酒造りをしてはいますが、やはり日本酒には日本の気候と水が一番だと改めて実感したんです。美山は国内でも有数のミネラル豊富な源流水があり、酒造りに最高の土地です。ここで造る日本酒や化粧品を更に海外に発信していきたいですね」と語る大石さん。

「私の好きな言葉は『自今生涯』。これは堀場製作所の最高顧問でした堀場雅夫さんの言葉ですが、『誰も1秒前には戻れない、すべては今ここにある』という意味です。酒造りに例えると、麴が良ければ良い酵母菌ができる。酵母菌が良ければ美味しい酒ができ上がる。つまり、今日ベストを尽くさなければ素晴らしい明日は来ない、と考えて日々お客様に喜んでいただける酒造りをしています」。



美山に新たな酒蔵と「美山路・酒の館」をオープン

## 事業概要

### 大石酒造株式会社

http://www.okinazuru.co.jp

代表：代表取締役 大石 博司

業種：清酒製造業

設立：平成元年11月

住所：〒621-0033 亀岡市葺田野町佐伯垣内亦13

TEL：0771-22-0632 FAX：0771-23-2188